

水稲用一発処理除草剤

サスケ®ラジカル ジャンボ

投げ入れるだけの簡単散布で、
がんこな雑草もしっかり抑える。



軽い

散布の負担を大きく軽減！

独自開発のラジカル製剤で1パックの重さが20gと非常に軽く、10アールあたり10パックを投げ入れるだけです。



速い

パッと広がるターボ拡散！

水面で浮いたまま拡散し、拡散終了までの時間も短く、拡散不良による効果不足や薬害の心配が少なくなりました。



効く

SU抵抗性雑草※に強い！

ホタルイ、コナギ、アゼナ類などSU抵抗性雑草および難防除雑草に対しても、優れた除草効果を発揮します。

※スルホニルウレア系除草剤(SU剤)に抵抗性を持つ雑草



水口施用も
可能に
なりました。



ホタルイ



コナギ



アゼナ



ミズガヤツリ



クログワイ



ウリカワ



■使用適期(上手な使い方)



※地域や圃場条件によって、差異がでることがあります。

■適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量 (10a当り)	本剤の 使用回数	使用方法	カフェンストロール を含む農薬の 総使用回数	シクロスルフアムロン を含む農薬の 総使用回数	ダイムロン を含む農薬の 総使用回数	ベンゾピシクロン を含む農薬の 総使用回数
移植水稲	一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ クログワイ オモダカ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植後3日~ ノビエ2葉期 ただし、 移植後30日まで	小包装 (パック) 10個 (200g)	1回	水口施用又は 水田に小包装 (パック)のまま 投げ入れる	1回	2回以内	3回以内 (育苗箱散布は 1回以内 本田では 2回以内)	3回以内
直播水稲	一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲1葉期~ ノビエ2葉期 ただし、 収穫60日前まで			水田に小包装 (パック)のまま 投げ入れる			2回以内	

▲使用上の注意事項

- 必要量を購入し、出来るだけ残すことなく使いきってください。
- 小包装(パック)のまま10アール当り10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- 小包装(パック)に使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業しないでください。
- 本剤は、雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2葉期までに時期を失しないように散布してください。
- なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれがでるので、必ず適期に散布してください。各雑草の散布適期は以下のとおりです。
ホタルイ.....2葉期まで
ヘラオモダカ.....発生始まで
ウリカワ.....2葉期まで
ミズガヤツリ.....2葉期まで
ヒルムシロ.....発生期まで
セリ.....再生前から再生始まで
イボクサ.....再生前から再生始まで
クログワイ、オモダカ、アオミドロ・藻類による表層はく離.....発生前まで
- 苗の植付けが均一となるよう、代かき、均平化及び植付作業はていねいに行ってください。ワラくすなどの浮遊物はできるだけ取り除き、未熟有機物を施用した場合は特にていねいに行ってください。
- オモダカ、クログワイの防除に当たっては、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用してください。
- 水田に小包装(パック)のまま投げ入れる場合は、水の出入りを止めて水深5~6cmの湛水条件で投下してください。
- 水口施用の場合は、あらかじめ1~2cm程度水深を確保した状態で、入水時に本剤を水口に施用してください。本剤のフィルムが溶解後、粒剤が水口から数メートルの場所に留まる可能性があります。流入水とともに有効成分は水田全面に拡散します。施用後田面水が通常の湛水状態(湛水深3~5cm)に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。
- 本剤使用後、少なくとも3~4日間は通常の湛水状態(水深3~5cm)を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないよう注意し、また、使用后7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 藻類や表層はく離等の多発している水田では、拡散が不十分となり効果が劣る可能性があるため使用をさけてください。

- 散布直後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさけてください。
- 以下のような条件では薬害が発生するおそれがあるので、使用をさけてください。
①砂質土壌の水田および漏水田(減水深2cm/日以上)
②軟弱な苗を移植した水田
③極端な浅植の水田および浮き苗の多い水田
- 散布後数日間暑く高温が続く場合、初期生育が抑制されることがありますが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は、認められません。
- 直播水稲に使用する場合、適切な覆土を行い、稲の1葉期以降に散布してください。稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 本剤はその殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意してください。
- いくさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合は、病虫草害防除等関係機関の指導を受けてください。
- 水溶性フィルム包装が破損した場合には以下の点に注意してください。
①眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
②皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
③かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養魚池等に流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

貯蔵上の注意事項

- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥し子供の手の届かない場所に密封して保管してください。
- 吸湿性があるので湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を固く閉じて保管してください。

このチラシの記載内容は2019年11月現在のものです。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。●防除日誌を記載しましょう。